

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ルネサス 技術情報

〒100-0004
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
 (日本ビル)
 TEL (03)5201-5022 (ダイヤルイン)
 株式会社 ルネサス テクノロジ 応用技術統括部
 マイコンツール技術部

製品分類	開発環境	発行番号	TN-CSX-051A	Rev.	第1版
題名	SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.7 不具合のご連絡(8)	情報分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	P0700CAS7-MWR P0700CAS7-SLR P0700CAS7-H7R	対象ロット等	SuperH RISC engine C/C++コンパイラ、 アセンブラ、最適化リンケージエディタ ユーザーズマニュアル ADJ-702-444A 第2版	有効期限	
	Ver.7.0 台	関連資料		永年	

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.7 に別紙に示す不具合があります。

次に示す製品を御使用のお客様につきましては周知願います。

型名	パッケージバージョン	コンパイラバージョン
P0700CAS7-MWR	7.0B	7.0B
	7.0.01	7.0.03
	7.0.02	7.0.04
	7.0.03	7.0.06
	7.1.00	7.1.00
	7.1.01	
	7.1.02	7.1.01
P0700CAS7-SLR	7.0B	7.0B
	7.0.02	7.0.03
	7.0.03	7.0.04
	7.0.04	7.0.06
	7.1.00	7.1.00
	7.1.01	
	7.1.02	7.1.01
P0700CAS7-H7R	7.0B	7.0B
	7.0.02	7.0.03
	7.0.03	7.0.04
	7.0.04	7.0.06
	7.1.00	7.1.00
	7.1.01	
	7.1.02	7.1.01

なお、チェックツールを以下の URL より入手できます。

<http://www.renesas.com/jpn/products/mpumcu/tool/index.html>

添付：P0700CAS7-030422J

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.7 不具合内容(8)

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.7 不具合内容(8)

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.7 台における不具合内容を以下に示します。
本不具合のチェックツールを以下 URL より入手できます。
<http://www.renesas.com/jpn/products/mpumcu/tool/index.html>

1. データ出力時不正

【現象】

"シンボルアドレス+オフセット値"の初期値をもつ変数が多く存在する場合、内部エラーもしくはオブジェクト不正になる場合がある。

【発生条件】

以下の条件をすべて満たした場合に発生することがあります。
該当するかどうかはチェックツールを使用することにより確認することができます。

- (1) code=machinecode(デフォルト)を指定している。
- (2) listfile オプションを指定していない、もしくは listfile オプションと show=noobject オプションを同時に指定している。
- (3) 初期値つき変数の定義が存在する。
- (4) (3)の初期値が"シンボルアドレス + オフセット値"または構造体先頭でないメンバのアドレスである。
- (5) (3)の変数、および初期値が以下の条件を満たしている。

(3)の数+(4)のオフセット値の 10 進桁数の合計) 33000

<例>

```
extern char g;
#define DATA1A (&g+2147483647)
#define DATA10A DATA1A, DATA1A, DATA1A, DATA1A, DATA1A, ¥
DATA1A, DATA1A, DATA1A, DATA1A, DATA1A
#define DATA100A DATA10A, DATA10A, DATA10A, DATA10A, DATA10A, ¥
DATA10A, DATA10A, DATA10A, DATA10A, DATA10A

/* 以下は(変数の数+offset の合計桁数)=(3001+10*3001)=33011>33000 となる */
char *a1[1000] = {
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A,
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A
};
char *a2[1000] = {
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A,
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A
};
char *a3[1000] = {
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A,
    DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A, DATA100A
};
char *a = DATA1A;
```

【回避方法】

該当箇所が存在した場合、以下のいずれかの方法で回避していただきますようお願いします。

- (1) 該当ファイルを listfile オプション指定する(show=noobject は指定しない)。
- (2) 該当ファイルを code=asmcode オプション指定する。

以上